

LNG燃料フェリー「さんふらわあくれない・むらさき」が 内航船省エネルギー格付け最高評価を取得

株式会社フェリーさんふらわあ(代表取締役社長 赤坂光次郎)が、日本初のLNG燃料フェリーとして、2022年末及び2023年初に、大阪/別府航路に投入予定(現在建造中)「さんふらわあくれない」・「さんふらわあむらさき」(仮称)が、このたび国土交通省が認証する、「内航船省エネルギー格付け制度」(下記)において、優れた環境性能が評価され、最高評価の星5つ(☆☆☆☆☆)を取得しました。

内航船省エネルギー格付け制度

国土交通省の船舶の省エネ・省CO₂性能を客観的に評価する制度。基準値よりも何%改善したかに応じて「星なし」から最高評価の「星5つ(☆☆☆☆☆)」までの6段階で評価され、両船は最高評価(重油使用時と比し二酸化炭素(CO₂)排出量を20%以上カット)の「星5つ(☆☆☆☆☆)」を獲得。



▲内航船省エネルギー格付け制度
ロゴマーク

本船の概要

船名	さんふらわあくれない・さんふらわあむらさき(※)
総トン数	17,300トン
全長	199.9m
燃料	LNG/重油
航海速力	22.5ノット
旅客定員	763名
特徴	①移動手段としてのフェリーに客船(クルーズ)の要素を取り入れることで、船旅そのものを楽しむことができる “初めての経験 わくわくドキドキさんふらわあのカジュアルクルーズ”をさらに進化させます。

②貨物スペースを現行船の1.5倍に拡大し、物流を支えます。

③日本初のLNG燃料フェリー。LNG(液化天然ガス)を燃料とすることで、硫黄酸化物(SO_x)をほぼ排出せず、窒素酸化物(NO_x)と二酸化炭素(CO₂)の排出を大幅に削減します。

(※)船名については、変更になる場合があります。



▲さんふらわあくれない イメージ



▲3世代の”きずな”(KIZUNA)を深める
コネクティングルーム



▲瀬戸内海の3大架橋や島々の景色を楽しむ
専用バルコニー付き「スイート」

